

東北日日新聞

本報創刊二十二年
年報三冊
中報一冊
無休
刊行所
石城郡平町
日新報社

取引所の跡は 青物市場になる

野菜の外果實類も取扱ふ 近々開始すべく準備中

平町白銀町の石城鮮魚商利用してはとの希望もあり合取引所建物は市場との紛且つ各方面からの進めもあり争を解決して市場の所有にかりかた、近々準備に取り属したが處分するとなればかかる嵩様である尚ほ普通現在二百圓以上に見つる青物類の外果實類はナン、事は困難なため市場側とし柿等相當遠方まで名聲をても今すぐにごうするとい博してあるものがあるのでも豫定もなしのいで平これ等も取扱ふ事となるべしに野菜市場のののを遺く實現のあかつきは利便多憾とし同町佐藤作平が豫てかるべく一般から期待され市場認可を申請したところである

不況な決算期の 常磐地方各炭礦

王國磐城、入山両炭礦まで 炭價の大落りに悩む

長期の不況に悩まされ通し金を一躍倍加して自家用の常備地方における各炭礦發電所その他の設備をなしは現政府の消費節約の徹底大飛躍を試みた磐城炭礦の的宣傳に禍ひされて販路は如きは、八千に餘る従業員片々端から縮少されて行きと家族とを擁してゐるだけ殊に炭價は好況時代の半減一層深刻なる不況を満喫しといふ大落りに遭遇し今や半期の従業員ボーナス等も各炭礦の経営は全く存亡の一期毎に減額の状態にあり岐路をほう徨するの悲運を今期等は僅かに酒肴料のお招くに至つたことは既報し印しばかり、又株主に對備へ萬遺憾なきを期するた日午前八時より平町役場だが、殊に好況時代に資本する配當も勿論無い袖は振れぬ確かなる工事委員を選ぶ行はれると

平郵便局跡 商店を建設する

磐城銀行の休業によつて一沫の暗影を投じて來た平町三丁目の大通りもまた、平局舎の移轉によつて一層物の哀れさを感じせしめる事となつたので地元民はこれが對策に就てより、協議中であつたがこの程に至り平局舎の跡は全部改造して表明する商家となし更ら期僅かに三分の配當をもつて一時逃れてゐる始末で炭礦界の不況は殆んど言語に絶して有様である

平上水道擴張 起債認可近し

町は工事の万全を期すべく 堅實な工事委員を物色中

平町の上水道擴張工事に伴ふ二十萬圓の起債認可申請書は幾多のきよく折を経た末漸く大蔵省に轉じおそくも七月末までには認可の指令に接するものと観らるゝに至り平町では豫定より著しく遅延してゐるので指令と同時に着手すべく萬端の設備を整へてゐるが從來の例から推して該工事が相當大仕掛けなものであるだけに中途にして種々な問題が起る事は豫想せねばならぬ斯くては更に竣工がおく結果となるのみならず毛聯合品評會は既報の如く五月二十一日より三日間現着手後は内部から故障箇所場に於て舉行されたがそれによる褒賞授與式は七月一日午前八時より平町役場で行はれると

「前科」に職を奪はれ 六犯を重ねた男

家主方より財布を窃取し 生活費にあてる

石城郡高久村下高久八幡生れ當時好間村上好間字北町田二八前科六犯無職鈴木賢治(四一)は去る十五日午前十一時頃家主である同町小野良徳方に至り座談中良徳の妻サダ(四七)が中座の際に座布團の下から現金二圓五錢入財布及びサン糊珠のかんざし価格三圓五十錢を窃取し日用品を買入れ消費した事平署に探知され目下取調べをうけてゐるが同人は「前科」に職を奪はれ生活が極悪な彼れにも一面同情すべき點があると某司法主任は語つてゐた

レポート

●赤井に疫り 石城郡赤井村西小川瀧ノ作平澤つな(六六)は二十六日午後三時頃診断の結果疫りと決定同村避病舎に收容された

●戸數割増 石城郡勿來町の戸數割増課決定の訓會は二十八日より開く

●野球試合 平郵便局、平鐵友、綴坑の野球試合は二十九日午後一時から石城郡内郷村高坂グラウンドに舉行される

●演習召集者 豫備役陸軍航空兵特務曹長大間喜繁氏は勤務演習召集のため千葉氣球隊へ七月一日より三週間入隊する

●四倉の小火 石城郡四倉町新町吉田彌十郎方煙節製造所より二十五日午後八時半頃煙火した幸ひ大事に至らず消し止めた原因は賣溜金三十圓を窃取何れに

平署管内 消防組 頭大會

平警察署管内四十八ヶ町村消防組頭會議は来る七月一日午前九時から同署會議室に開催五年度新規事業につき打合せをなす筈

怪盗また 南町に現る

平町南町七〇酒店小松茂方怪盗忍び込み同家押入れに盗溜金三十圓を窃取何れに

失火で損害は約三百圓

▲平町町五七(本籍) 永原政繼氏長男 政掌 死 亡

▲平町杉平一六 五十嵐源藏(六七) しんぶんの新聞

學生の盟休熱が、最近に到つて戰闘的になつてゐることは、他の爭議と同じ傾向である。

早大が自由な學園として幾多の人材を出したことを忘れてか、歴史的な新聞學會、雄辯會、文藝研究會などが廢止された。

學生諸君のおこるのも無理がない、あの學校の歴史的な實在が破壊されて行くからであらう。

主柱がないといふことは、没落することである。

精神的な早大の中心がないといふことは淋しいことである。

▲アメリカの國家的憤みもそれか。

▲ロシアのソヴェト政府があらゆる日本の研究に没頭してゐるさうである。

▲各大學でも日本語科を特設してゐる。

▲新生の一步から更に躍進しやうとする氣勢がはる見える。

▲そして亦、あの妻から他へ移動しつゝあるやうなアル者が感ずる。

▲支那山西省雲岡の石窟寺

にある石佛が、武周川の北岸に沿つて八丁餘の石くつ内にある十數基と數千の小佛傳とは千五百年前の傑作である。發見者伊東忠太博士語る。

佛教藝術の粹とされる後ぞの遺跡が、むざむざと破壊されて行くことは悲しいことである。

輝かしい日をもたないでこたゝの斷續である支那としては放棄するものやむを得ないことである。

馬鹿者が世襲財産をもつてゐる形だ。

▲ブルジョアの輕井澤も今年には貸別荘三分の二がいまだよすがらぬさうな、苦しまされに三割値下げそれでも駄目の度。

▲扱て平町の家主諸君、家賃二割の値下げすることにしてはどう。

▲生保各社の連中と投資の相談をする井上安達兩相と、財界の各有力者といふん談といふものをやつた首相、さても民政黨の大黒柱が、政策直往とはむづかしいと氣がついた。

▲負債しみを言はぬことさそれが政策轉換と申しませ。そして現局救済の途は資本主義的の假面を被つた、民衆政治の高唱ちやダメであることが、しみみんと思ひ知つた筈だが、やれまい。

▲やれば分解作用をおこしておちやんさ。

雄大で變化

富山 妙高山一帯

凡てに離れてより立つ山、純真な大自然は勇ましい若人を待つてゐる。

(高田電話) 雄大で變化に富みしかも短日時で土曜から日曜へかけて行はれる信越國境妙高山を盟主とするくび城アルプス焼山、火打山連峰の縦走が非常に登山者の間に期待され今夏はこの征服者が多からうと見られ高田管林署でも新登山道の開設その他に努めてゐる。

信越線關山驛下車乗合自動車で關澤泉に至り同所泊(兩温泉とも一泊一圓五十錢から二圓)翌早朝妙高(標高二千四百四十六米)の頂上を極めて黒澤池に下り更に高谷池に着同池畔には高田管林署が山下登山小屋の設計中で、又キャンプ好適地である、第二日は火打山(標高二千四百六十二米)及び燒山(同二千四百米)を征服して笹原温泉に降り北陸鐵道治屋敷に出るかあるひは黒澤けい谷を逆に笹ヶ峯に出てキ

無料検眼
各眼科院御用
町田平部計時本根
番七〇六話電部鏡眼本根

電話番号が變りました
電話八百六十番

増築落成 病室完備
入院 隨意

上田外科醫院

平町 電話二一九番

正確な 体温器

関内藥局

電話四〇番

今般共融社ヲ設立左ノ業務ヲ取扱ヒマシム付キ御用命ヲ希上マヌ
金融、土地、建物、電話其他ノ仲介
貸金ノ取立及賣掛代金整理、家出
人ノ搜索婚姻、其他ノ身内内債



大野寫眞館



病消力チの藥

東三郎 日守三郎
峰岸淋丹

初夏サロンの新装

田町サロンの新装

西村 通人食

おぼん、おぼん、おぼん

多田井質店

勸業債券 兩替 復興債券 金融

和夏の家具は、和久井屋

平町四丁目 電話二四〇番